

5言語の“丁寧”の意味・用法とWEB上のコロケーション分析

—日本語・韓国語・中国語・シンハラ語・ドイツ語の分析—

小野 正樹 朱ヒョンジュ 許 允瑄 山下 悠貴乃
赤羽 優子 孫 思琦 伊藤 秀明
デヒピティヤ スランジ ディルーシャ グルミラ アリモヴァ

要 旨

様々な母語をもつ日本語学習者に対して、文法説明や会話教育で、「こちらの方が丁寧な言い方です」と言うことがあるが、「丁寧な言い方」にどれほど共通理解があるのだろうか。本稿では多言語で日本語の「丁寧」に相当する語彙やその周辺語を調査することで「丁寧」の使用範囲を観察する。日本語・韓国語・中国語・シンハラ語・ドイツ語の「丁寧」に相当する語の辞書記述、「丁寧」からの連想語彙、そしてWEB上の各言語の「丁寧」とのコロケーションを抽出した。こうして得られたコロケーションを、語彙の体系を示すシソーラスで分類することで、各言語の「丁寧」の特徴を観察する。

【キーワード】 意味概念 辞書 連想 コロケーション シソーラス

A Contrastive Study of the Meaning and Use of Politeness in Japanese, Korean, Chinese, Sinhala and German

ONO Masaki, JU Hyunju, HUR Yoonsun, YAMASHITA Yukino,
AKAHANE Yuko, SUN Siqi, ITO Hideaki,
DEHIPITIYA Surangi Dilusha, GULMIRA Alimova

[Abstract] In Japanese language class, we often use phrases like “This expression is more polite”. But is there a mutual understanding of what we mean by “polite” among the class participants who come from different linguistic backgrounds? To identify the meaning of “Teinei”, at first we looked up the corresponding six foreign words with “Teinei” in a dictionary; Japanese, Korean, Chinese, Sinhala and German. Secondly, we found out the associated words through inquiring of each native speaker and Japanese language learner, and observed the description of 5 languages dictionaries and co-occurrence expressions in each language using web site search engines. In order to organize our thoughts, we classified each result by using a thesaurus.

[Keywords] semantic concept, dictionary, associated (words), collocation, thesaurus

1. はじめに

日本語教育において、表現や語彙説明で「こちらの方が丁寧です」という言い方をすることがあるが、この「丁寧」について、話者と聴者はどのように理解し合っているのだろうか。「丁寧」という語彙は日本語の国語辞書でも多義である(=(1))。

(1) 注意深く心がゆきとどくこと。また、てあつく礼儀正しいこと。(『広辞苑』第6版)

「丁寧」が英語“polite”と同義でないことは、Brown and Levinson (1987) *Politeness: Some Universals in Language Usage*の翻訳が、田中典子他(2011)で「ポライトネス」¹とされていることからもうかがえる。(2)は和英辞書の「丁寧」の説明である。

(2) 1 [配慮が行き届き、礼儀正しいさま] ~な polite ; civil ; courteous ; well-mannered.

2 [細かいところまで注意が行き届くさま] ~な careful ; scrupulous ; thorough ; meticulous ; (『新和英大辞典』第5版)

日本語の意味は、[配慮が行き届き、礼儀正しいさま]と、[細かいところまで注意が行き届くさま]という2つの意味に分けられている。また、該当する英語は、polite、civil、courteous、well-mannered、careful、scrupulous、thorough、meticulousと複数の意味が挙げられている。これは英語の例であるが、他の言語でも日本語と一対一に対応できないことは容易に想像がつくであろう。そこで、本調査では、敢えて複数地域の言語を選び、各言語の「丁寧」に相当する語彙の辞書記述や、どのような語彙と共に使われているかというコロケーションに注目することで、各言語の「丁寧」の特徴を見る。

2. 問題提起

2.1 日本語学習者の文から

日本語学習者が「丁寧」という言葉を用いて文を書く際、日本語では表しにくい表現が見られる。その原因として考えられるのは、学習者の語彙知識が不足している、あるいは日本語の「丁寧」を母語の知識から誤解している場合である。まず、語彙知識が不足している例として、韓国語を母語とする学習者の例を挙げる。

(3) 丁寧に座っている (韓国人日本語学習者)

日本語に直すと、「礼儀正しく座っている」が適切だが、韓国語の「丁寧」である「恭遜(gongson)」が「座る(antta)」と結びつくことから生じた例と考えられる。次に、日

本語の「丁寧」を母語の知識から誤解している例として、スペイン語を母語とする学習者の例を挙げる。

(4) 先生はよく丁寧に笑っているので、怒っているかどうかわからない。

(コスタリカ人日本語学習者)

この原因として、里見 (2010 p.43) を参考にすると、スペイン語 “cortés” と日本語の「丁寧な」は「礼儀正しい」という点で非常に強く結びつくが、スペイン語 “cortés” は「friendly」という意味に近く、「親切的な/amable」、「心のこもった/cordial」「思いやりのある/considerado」など「相手のことを思いやり、心遣いが行き届く」心情的な語が連想される (里見2010 p.43) ためと考えられる。

また、次の例の「丁寧な技で作られている」という表現は日本語では使いにくい²。

(5) その製品は丁寧な技で作られている。(インドネシア人日本語学習者)

学習者の発想から、「丁寧」がどのような語彙と結びつくかという点も、日本語教育の観点からは興味深い問題で、こうした文の産出を防ぐためには、日本語の「丁寧」とのコロケーション情報を提示することも、辞書記述には求められるであろう。

2.2 日本語学習者の連想から

本節では、2つの調査報告を行う。1つは日本語学習者が日本語の「丁寧」からどのような言葉や表現を連想しているか、もう1つは各言語の「丁寧」から連想される語彙は何かである。以下、各言語を母語とする日本語学習者の例を挙げながら考察する。対象は、韓国語、中国語、シンハラ語、ドイツ語母語話者である。

はじめに、韓国人日本語学習者の中には、日本語の「丁寧」に当たる韓国語を聞く設問に対して、「配慮心がある (배려심이 있다)」などの回答があった。つまり、社会的な配慮を表す教養のある言葉の意味として捉えていることが分かる。これは日本語の連想調査結果と同様である。しかし、韓国語でのアンケートでは「尊敬する (존경하다)」など敬語の概念と混同してしまうことや、「高学歴 (고학력)」のように「丁寧」ということばと直接関係のない意味への連想もあった。韓国語の連想では、「丁寧な」を「鄭重 [jeongjung]」として捉え、全体的に共通する連想語として「親切的な」、「礼儀正しい」という表現が見られた。特徴的な連想語としては、「実直な (올곧다)」「真心がこもっている (진심이 담겨 있는)」などが挙げられる。

次に、中国人日本語学習者のデータでは、「丁寧」と「尊敬」、「礼儀」などの言葉と混同して使われる傾向が見られた。連想語調査結果では、4割以上の連想語が、「敬語」に関わる言葉で、連想表現でも「敬語(敬語)」「言葉(语言)」「表現(表現)」など言語に関する言葉を挙げている。割合としては低い、「細かい」、「優しい」などの連想語も挙げられている。「敬語」が多い理由として、中国の日本語教育では「丁寧語」という文法項目を「丁寧語」あるいは「礼貌語」に翻訳して使っているため、「丁寧」と「尊敬」が混用されやすいのであろう。「丁寧語」と「尊敬語」を同じ授業内に学ぶため、「丁寧」と「尊敬」も同じ概念と思ひ込み、「勉強(学习)」「試験(考试)」「難しい(难)」などの表現も連想されている。

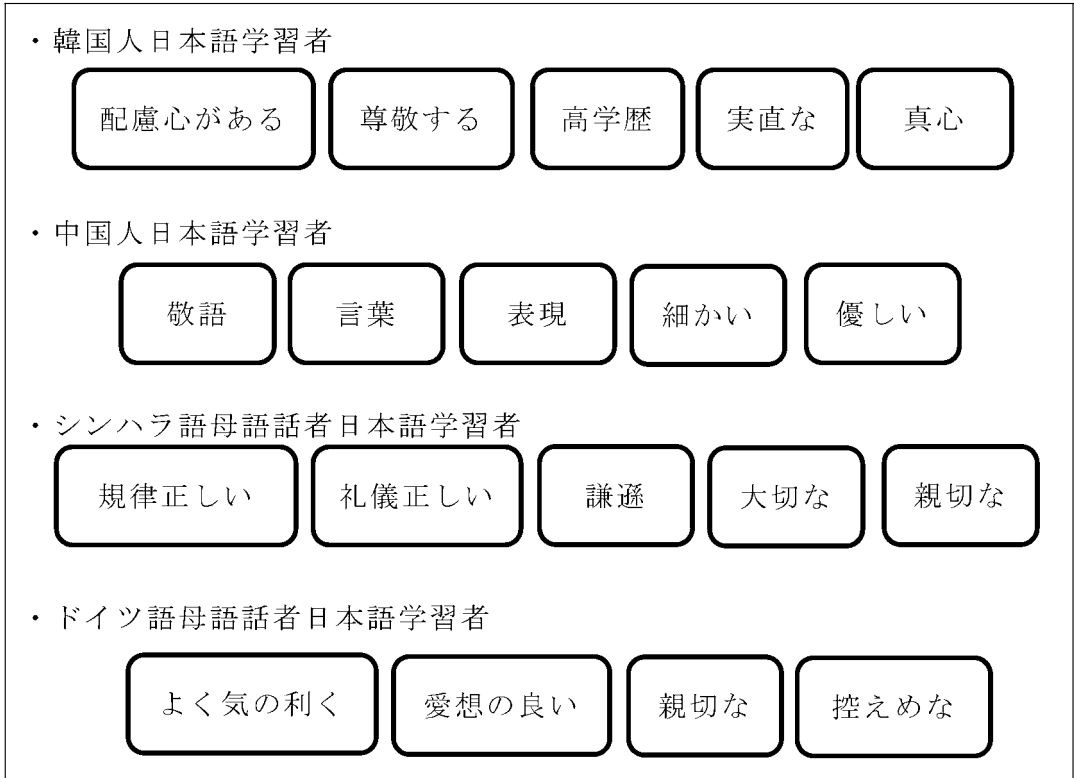
次に、シンハラ語母語話者日本語学習者でも、中国語と同様に「丁寧」を敬語と強く結びつけている傾向が見られた。また、日本語の「丁寧」に当たるシンハラ語の表現として「規律正しい(shista)」、「礼儀正しい(vini:ta)」、「懇懃(mahatma:gatiyeti)」、「謙遜(nirahanka:ra)」「貞操がある(sada:cha:ra:thmaka)」などの回答が多かった。つまり、「礼儀」「尊敬」など社会的によく認められている、あるいは人間としてそうであるべきという意味の言葉として捉えていることが分かった。シンハラ語の場合、「丁寧」を「shista」として捉え、全体的に共通する連想語として「規律正しい」「謙遜」という表現、特徴的な連想語としては、「正直(avanka)」、「大切(vedagat)」、「親切(karunavantha)」、「伝統的(sa:mprada:ika)」、「道徳(sa:radarma)」などが挙げられる。

ドイツ語の調査でドイツ人日本語学習者は、「よく気の利く(zuvorkommend)」、「愛想の良い(freundlich)」、「親切的(net)」、「控えめな(zurückhaltend)」という言葉の連想が多かった。「行儀がいい(brav)」、「ふさわしい、適切な(angemessen)」、「敬意のこもった(respektvoll)」も見られた。全体的に「höflich」として捉え、連想語としては、言葉や発話に関わる「丁寧な話し方」「丁寧な言葉」「日本人は丁寧」「店員が丁寧」「話し方が丁寧」「サービスで丁寧な態度を持っている」といった表現が見られた。

2.3 まとめ—日本語学習者の連想から—

本調査から日本語学習者の日本語「丁寧」に対する概念は母語の影響が見られることが分かった。

「丁寧」の語彙に関して、学習者が思っている概念が異なるため、日本語で「丁寧」な表現と説明しても理解が異なることがある。そこで、次節では、先行研究での分析を経て、各言語における「丁寧」の概念についての比較分析を通し、その共通点と相違点について明らかにしたい。



〈図1〉 学習者が見た日本語「丁寧」の主たる連想語彙・表現

3. 先行研究 —対照する言語と分析レベル—

どの言語を対照とするかは、目的や必要性からも重要な意味を持つ。大規模な基本語彙の対照としては、『日独仏西基本語彙対照表』(国立国語研究所1986)がある。『日独仏西基本語彙対照表』は約30,000語(異なり語数)を4言語で対照したものであり、日本語教育上の目的は「日本語といくつかの外国語とでいわゆる学習基本語彙とされているものについて、意味分類体で1つの表の上に配列し、各基本語彙がそれぞれの意味分類によって、どのような分類を示すか、あるいは、分布の遣いを見せるかということを見よう」というところにある。」(p.iv)とされている。しかし、日本語と対照する言語がドイツ語、フランス語、スペイン語といずれもヨーロッパ言語であり、本研究が扱う「丁寧」を見ても、語彙が書かれているだけである。そのため、ヨーロッパ以外の言語も含めた類型論的な視点から各言語の特徴を記述することが日本語教育上、必要であろう³。

33680	6	厚い	*	**		**	**		
-	-	丁寧	*	**		**	**		
3368X	9	*	要求の多い	**		EXIGEANT	**		
3368Z	91	*	心のもった	INNIG	形	**	EXPRESIVO	形	
-	-	*	信心深い	**		**	DEVOTO	形	
-	-	-	*	**		**	PIADOSO	形	

<図2> 『日独仏西基本語彙対照表』における「丁寧」の記述 (p.221)

次に、対照研究分野を概観すると、統語論では日英対照、あるいは英語を交えた研究が活発だが、語彙面では中国の漢字語彙との対照研究も多種多様に行われてきた。本研究が扱う漢字語彙「丁寧」は、「丁寧は、昔、中国の軍で使われた銅製の打楽器」(山下2008)とされるが、現代日本語では意味がまったく異なっている。加えて、WEB上に見られる「丁寧」とのコロケーションを見ると、社会制度の異なりからか、同じ中国語でも、中華人民共和国と台湾では、インターネット上の語彙がかなり異なるようである。

そこで、敢えて様々な社会制度、宗教、地域を選択して分析することとする。東アジアには共通の儒教観があることから、中国語と韓国語を観察する。日本語「丁寧」の概念を含む敬語を中心として考えると、絶対敬語を持つ国は限られ、韓国語以外には、大乘仏教と小乗仏教の異なりはあるにせよ、仏教が強く残る国家でも僧侶に対する敬語が存在するスリランカのシンハラ語を取り上げる。また、先行研究からヨーロッパ言語との対照もされており、本研究のアプローチと比較するという意味で、ドイツ語を取り上げる。英語を調査対象としなかった理由として、英語ユーザーの母語が限定できるものではないためである。

次に、対照の方法として、3つのレベルを想定して分析を進める。

- 語彙的意味レベル：1) 「丁寧」とそれに相当する各言語の語彙的意味記述
 語彙の意識レベル：2) 「丁寧」から連想される語彙
 語彙の運用レベル：3) 各言語のWEB上に見られる「丁寧」に相当する語彙とのコロケーション表現 (以下、コロケーション) からの分析

各言語の「丁寧」に相当する語は以下の通りである。

- 韓国語 鄭重 [jeongjung]、恭遜 [gongson]
 中国語 礼貌 [limao]、仔細 [zixi]、周到 [zhoudao]⁴
 シンハラ語 [acha:rashi:li] [shista]⁵
 ドイツ語 höflich, sorgfältig

本研究では、上記の語彙と日本語「丁寧」との概念を語彙の意味レベルでの比較考察、語彙の運用レベルでの対照を通し、概念がどのように使われているかについて探る。4節の調査1では辞書における分析結果をまとめ、語彙の意味レベルでの比較考察を行い、5節の調査2ではインターネット調査を通し、実際の運用レベルでの様相について分析を行う。

4. 調査1 5言語の“丁寧”に相当する語の定義

4.1 辞書における定義のまとめ

調査1では、まず各言語の「丁寧」に対応する語の記述を紹介する。はじめに、日本語国語辞書をまとめると、4つの定義にまとめられる。

・日本語辞書の記述

丁寧〔名詞・形容動詞〕

- ①注意深く念入りであること。こまかいところまで注意がゆきとどいていること。また、そのさま。
- ②手厚く親切なこと。ねんごろで礼儀正しいこと。また、そのさま。懇切。懇懃。
- ③(「ご」を伴って)冗長なこと。無駄に多いこと。また、そのさまを皮肉に言うときに用いる。
- ④文法で、話し手が聞き手に対して直接に敬意を表現する言い方。→丁寧語。

小学館編 (2001) 『日本国語大辞典』第2版第9巻、小学館
松村明編 (2006) 『大辞林』第3版、三省堂

本研究では、上記4つの定義の中で、中心的な①「注意深く念入りであること。こまかいところまで注意がゆきとどいていること。また、そのさま」と②「手厚く親切なこと。ねんごろで礼儀正しいこと。また、そのさま。懇切。懇懃」の意味について、日韓辞書、日中辞書、日シンハラ語辞書、日独辞書に記載されている辞書の記述を記す。

・韓国語辞書の記述

鄭重 하다 [jeongjung-hada]〔形容詞〕

- ① 태도나 분위기가 점잖고 엄숙하다.
(筆者訳: 態度や雰囲気は大人しく厳粛である)
- ② 은근하고 친절함.
(筆者訳: 懇懃で親切である)

恭遜 하다 [gongson-hada]〔形容詞〕

: 말이나 행동이 겸손하고 예의바르다.

(筆者訳: 言葉や行動が謙遜であり、礼儀正しい)

標準国語大辞典: 国立国語院 <http://stdweb2.korean.go.kr/>

李基文監修 (1989) 『東亞新國語辭典』、東亞出版社

大阪外国語大学朝鮮語研究室編 (1985) 『朝鮮語大辞典』、角川書店

・中国語辞書の記述

礼貌 [limao]〔名詞・形容詞〕

①礼儀、マナー、エチケット

②礼儀正しい

仔细 [zixi]〔形容詞〕

①細心であり、注意深い

②気をつけ、用心深い

周到 [zhoudao]〔形容詞〕

: 周到であり、行き届いている

相原茂編 (2010) 『中日辞典』第3版、講談社

伊地智善継編 (2002) 『白水社中国語辞典』、白水社

小学館・北京商務印書館共同編集 (1992) 『日中辞典』第2版、小学館

・シンハラ語辞書の記述

a : cha : rashi : li : / a : cha : rasanpanna〔形容詞〕

: 礼儀正しい、丁寧な

shista〔形容詞〕

: 洗練された、上品な、啓発された、文明化した、教養のある

野口忠司 (1998) 『日本語シンハラ語辞典』、大学書林

野口忠司 (1992) 『シンハラ語日本語辞典』、大学書林

Madura Dictionary - Madura online (2012/03/01)

・ドイツ語辞書の記述

höflich〔形容詞〕

: 丁寧な、礼儀正しい、恭しい

sörgfältig [形容詞]

: 入念な、綿密な、注意深い、きちんと

在間進編 (2010) 『アクセス独和辞典』第3版、三修社
根本道也、鈴木敦典、有村隆広、本田義昭、新保弼彬、成田克史、恒吉良隆
吉中幸平、福元圭太 (著) 編 (2002) 『新アポロン独和辞典』、同学社

4.2 辞書における例文と用法のまとめ

辞書に提示されている例文と、用法を示す。日本語では連体用法(一な〔名詞])と連用用法(一に〔用言])があり、前者の例として、「丁寧な挨拶」「丁寧な言葉遣い」、後者の例として「丁寧に書く」「丁寧に頭を下げる」などがある。

韓国語では、「鄭重 [jeongjung]」は連用用法でも、連体用法でも使用可能で、「정중한 태도 (一な態度)」「정중히 (一に)」の記載があった。「恭遜 [gongson]」も同じく連用用法でも、連体用法でも使用可能で、「공손한 말씨 (一な言葉遣い)」「정중한 태도 (一な態度)」「공손하게 공손하게 (一に受け取る)」「선배들에게 공손하게 모자를 벗었다 (先輩たちに一に帽子を脱いだ)」の例が挙げられている。「鄭重 [jeongjung]」と「恭遜 [gongson]」の連用用法では語尾「-히 [hi]」「-하게 [hage]」でも使える。

次に、中国語では「礼貌 [limao]」は連用用法でも、連体用法でも使用可能であり、「礼貌地谢绝 (一に断る)」「礼貌语言 (一な言葉)」などの例がある。また、「仔细 [zixi]」も連用用法でも、連体用法でも使用可能で、例えば、「仔细核对 (一にチェックする)」、「仔细的观察 (一な観察)」がある。「周到 [zhoudao]」も連用用法でも、連体用法でも使用可能であり、「周到地留我们吃饭 (一に食事をふるまう)」「周到的接待 (一な接待)」という用法が挙げられている。

シンハラ語については [a:cha:rashi:li:] [a:cha:rasanpanna] の用法として「cha:rasanpannabhawaya (礼儀)」「shistatwaya (丁寧な言動) などの使い方が記述されてはいるが、[shista] では詳細な例は見当たらなかった。[a:cha:rashi:li:] [a:cha:rasanpanna] も [shista] も連用用法、連体用法として使用可能と筆者は判断するが、参考辞書では連体用法についての記述しかなかった。連用用法の場合は語尾「-va」「-lesa)」(～に) が用いられる。また、意味の説明に関しても上述したように日本語の①の意味に相当する表現のみである (=8)。しかし、筆者の判断では日本語の例文のシンハラ語訳では日本語の②の意味に相当する表現もある (=9)。

(8) Akurutawapehediliwaliyanna.

(もっと字を丁寧に書きなさい。)

(9) Ohutoppiyagalawagaurawapurwakawaacharakala.

(帽子をとって、丁寧に挨拶しました。)

例(8)の「pehediliwa」は「注意深く」の意味で、日本語の定義①に相当する。例(9)の「gaurawapurwakawa」には「尊い」の意味が含まれ、日本語の定義②に相当すると言える。このように日本語の例文のシンハラ語訳ではその文の意味に近い表現で訳されているが、詳細な記述は見つけられなかった。

ドイツ語ではhöflichとsorgfältigがあり、連体用法、連用用法ともに可能である。höflichが日本語②の用法で、sorgfältigが日本語の①の用法に近いことが以下の例文からうかがえる。まず、「höflich」の例を見ると、「im höflichen Ton (丁寧な口調)」「es wird höflich gebeten・・・(ぜひ・・・するようにお願いします)」「Es war so höflich, der Dame die Tür aufzuhalten (彼は丁重にもその婦人にドアを開けておいてやった)」「Er hat mich höflich begrüßt.(彼は私に丁重にあいさつした)」などがあり、日本語「丁寧」の定義②に当たる礼儀正しいことと意味的に類似していることが分かる。「sorgfältig」の場合、「eine sorgfältige Arbeit (綿密な仕事)」「eine sorgfältiger Mensch (きちょうめんな人)」など、日本語の定

<表1> 日本語の「丁寧」の定義に基づく各言語の表現

言語		定義①	定義②
日本語	丁寧	注意深く念入りであること。こまかいところまで注意がゆきとどいていること。また、そのさま。	手厚く親切なこと。ねんごろで礼儀正しいこと。また、そのさま。懇切。懇勸。
言語		定義①に該当する表現	定義②に該当する表現
韓国語	鄭重 [jeongjung]	×	「丁寧な挨拶」「丁寧に謝罪する」「丁寧に断る」
	恭遜 [gongson]		「丁寧に挨拶する」「丁寧に断る」「丁寧に接する」
中国語	礼貌 [li mao]	×	「丁寧な人」「丁寧に接客する」
	仔细 [zi xi]	「丁寧に本を読む」	×
	周到 [zhoudao]	「丁寧に考える」	「丁寧にもてなす」
シンハラ語	acha:rashi:li	「丁寧に情報を流す」	「丁寧な人(若者、警備員)」「丁寧に答える」
	shista	×	「礼儀正しい人(国民)」「礼儀正しい社会」「礼儀正しい文化」
ドイツ語	höflich	×	「丁寧な人」「丁寧な言葉」「丁寧に話す」
	sorgfältig	「丁寧な仕事」「丁寧に調べる」「丁寧に書かれる」	×

記号「×」はその言語において該当する表現および用法の記載がないことを示す。

義①に当たる「注意深く念入りで行動する」ことと意味的に繋がっていることが分かる。

上記分析を日本語の「丁寧」の定義①と定義②を基準として、各言語の表現とその使い方について、まとめたものが<表1>である。

5. 調査2 “丁寧”に相当する語彙のWEB検索サイトによるコロケーション

5.1 方法と目的

「丁寧」に相当する語彙が社会的にどのように用いられているかの実態観察の方法として、WEB上でのコロケーションを追究する。コロケーションを見ることで、文脈が理解でき、「丁寧」の使用を示せると考えたからである。さらに、コロケーションが語彙体系の中でどのように位置づけられているかを明確にする。

5.1.1 日本語データの概観

インターネット上での日本語「丁寧」のコロケーションについて概観する。まず、日本語では「丁寧に説明する」「丁寧に解説する」「丁寧に暮らす」「丁寧に生きる」「丁寧に教える」などの例から連用用法としての使用が確認できる。また、「丁寧な暮らし」「丁寧な説明」「丁寧な回答」「丁寧な言い方」「丁寧な対応」などの連体用法も見られた。また、「形容詞の名詞形+丁寧」の用法では「懇切丁寧」「親切丁寧」のように四字熟語として使われる。その他には、「丁寧語」「丁寧表現」として、敬語や表現の1つの種類として使用される。名詞化された形として、「丁寧」、または形容詞「丁寧な」が名詞化した「丁寧さ」の形で名詞として用いられる。漢字熟語と「丁寧」を列記して、掲示板や企業・団体HPの見出しとして、「親切・丁寧」「安心・迅速・丁寧」などの使い方で使用されている。加えて、「丁寧すぎるほど丁寧に」「丁寧すぎるくらい丁寧に」などで「形容詞+すぎる」の用法で用いられることが分かった。

5.1.2 韓国語データの概観

韓国語の用法については、鄭重 [jeongjung] と恭遜 [gongson] に分けてその特徴について分析を進める。まず、インターネットから調べた鄭重 [jeongjung] の文を見ると、連用用法として使われており、「丁寧に謝罪する」「丁寧に断る」「丁寧に聞く」などの表現で使われていた。そして、連体用法としては、「丁寧な謝罪」「丁寧な挨拶」「丁寧な警告」「丁寧な提案」の表現が多く見られた。さらに、鄭重 [jeongjung] + 漢語名詞は、「丁寧語法」「丁寧拒絶」が特徴的な表現である。鄭重 [jeongjung] が含まれる表現を日本語に直訳した場合、「丁寧に拒絶する」「丁寧にキャンセルする」「丁寧に通報する」という表現は不自然さを感じる。次に恭遜 [gongson] の結果を見ると、主に連用用法として使われており、「丁寧に挨拶する」「丁寧に話す」「丁寧に手をそろえる」などの表現が見られた。

また、連体用法として使われている例文は「丁寧な姿勢」「丁寧な挨拶」「丁寧な人」などの表現である。恭遜 [gongson] を用いた「丁寧な心」「丁寧に両手で」という韓国語の表現は日本語で考えると不自然さを感じる。

5.1.3 中国語データの概観

中国語の用法については、礼貌 [limao]、仔細 [zixi]、周到 [zhoudao] の3つの表現を順に見ていく。まず、礼貌 [limao] は、連用用法として使われる時、「丁寧に言葉を扱う」「丁寧に行く」「丁寧に答える」などのような表現で使用されていた。また、連体用法として「丁寧な子供」「丁寧な人」の例があった。特徴としては、名詞として使われている礼貌 [limao] は、ほとんど「丁寧」に直訳できず、連体用法にも「丁寧な用語」「丁寧な行為」「丁寧な習慣」など日本語に直訳すると自然さに欠ける表現がある。仔細 [zixi] の場合、連用用法としては「丁寧に見る」「丁寧に考える」「丁寧に読む」などで使用され、連体用法として「丁寧なプロセス」「丁寧なやり方」などの例で使われていることが分かった。特に述語としての仔細 [zixi] の表現には、「薬の飲み方は丁寧でない」「労働者は丁寧だ」「問題の理解は丁寧でない」など、日本語では見られない例がある。周到 [zhoudao] は、「丁寧にもてなす」「丁寧に仕事をする」「丁寧に世話する」など連用用法として使われている。また、連体用法として「丁寧な対応」「丁寧なデザイン」「丁寧なガイドブック」の例が挙げられていた。周到 [zhoudao] + 漢語形容詞の形で、「丁寧緻密」「丁寧情熱」「真心丁寧」「丁寧適切」などの例があった。周到 [zhoudao] の特徴は、「世話」「対応」「もてなし」とのコロケーションも見られる。辞書で記された形容詞の用法以外、名詞の用法も現れており、「丁寧さは品格だ」「店主の丁寧さ」などの例がある。

5.1.4 シンハラ語データの概観

シンハラ語の用法について、インターネットから収集した例文を調べると、acha:rashi:li の使い方は「丁寧に答える」「丁寧に笑う」など連用用法として使われている用法と、「丁寧な挨拶」「丁寧な態度」など連体用法として使われている例文がある。この表現の特徴は、連用方法では「する」より「なる」動詞が目立つ。日本語に直訳した場合「丁寧になってください」などの不自然な表現がシンハラ語には存在しているところは特記できよう。次に shista という表現は「丁寧な社会」「丁寧な生活」「丁寧な方法」など連体用法として使われている例文があり、特徴としては「丁寧な国」「丁寧な教育」などの表現が日本語で考えると不自然さを感じるものがあった。

5.1.5 ドイツ語データの概観

ドイツ語については、höflichとsorgfältigに分けてその特徴について分析を進める。まず、

インターネットから調べたhöflichの文を見ると、主に連用用法として使われており、「丁寧でいてください」の命令形の用法が多いこと、「丁寧に断る」「丁寧に依頼する」「丁寧に感謝する」などの表現で使われていた。また、「我々は丁寧だ」「人は丁寧だ」、「イギリス人は丁寧だ」「日本人は丁寧だ」のような、属性を述べる表現が見られた。次にsörgfältigの結果を見ると、主に連用用法として使われており、「丁寧に審査する」「丁寧に読む」「丁寧に選ぶ」「丁寧に掃除する」「丁寧に作業する」「丁寧に保管する」など、他者に対する敬意よりも、行為の仕方に対する表現が見られた。

5.2 シソーラスによる分類

5.2.1 分析方法と全体的な傾向

前節のデータを語彙体系として分析する方法を提案する。語彙体系を示したものに、『分類語彙表』(国立国語研究所1964)が挙げられ、国立国語研究所報告4『婦人雑誌の用語』(1953)、国立国語研究所報告13『総合雑誌の用語』(1958)での分類方法を踏襲し、国立国語研究所報告21『現代雑誌九十種の用語用字』第一分冊(1962)、『教育基本語彙』(坂本一郎、1984)から32,600語を選び、同義類義の関係でまとめられたものである。しかし、本研究では、山口(2003)を利用する。山口は『広辞苑』などの辞書の見出し語を集合分類体系化したもので、「言葉探しと類語検索に徹した辞書」とある。本調査では、コロケーションを見ていくが、それは同一品詞となる保証はないことと、「品詞にこだわらな

<表2> 「丁寧」に相当する語彙のインターネット上のコロケーションの傾向

言語・表現		シソーラス分類による傾向 (>の左が多いことを示す)
日本語「丁寧」		IV人間性・V人間行動・VI社会的活動>I抽象的關係・VII自然と環境
韓国語	①鄭重 [jeongjung]	VI社会的活動>V人間行動>III序と時間・IV人間性
	②恭遜 [gongson]	VI社会的活動>V人間行動>IV人間性・II位置・空間・I抽象的關係
中国語	①礼貌 [limao]	IV人間性>VI社会的活動>V人間行動>I抽象的關係
	②仔细 [zixi]	V人間行動>VI社会的活動>II位相・空間
	③周到 [zhoudao]	VI社会的活動>I抽象的關係・II位相・空間>IV人間性・V人間行動
シンハラ語	①acha:rashi:li	VI社会的活動>V人間行動>IV人間性>II位相・空間・I抽象的關係
	②shista	VI社会的活動>VII自然と環境>IV人間性・V人間行動
ドイツ語	①höflich	VI社会的活動>VII自然と環境>II位相・空間>III序と時間・IV人間性・V人間行動
	②sörgfältig	IV人間性>VI社会的活動>V人間行動

い」と述べられている。品詞にこだわらない理由は、各言語の体系が様々であるため、品詞ごとの分析では意味がないと判断したためである。分析は、山口 (2003) に基づき < I 抽象的關係 > < II 位相・空間 > < III 序と時間 > < IV 人間性 > < V 人間行動 > < VI 社会的活動 > < VII 自然と環境 > に分類した⁶。

また、本調査に用いた各言語の検索サイトと重複した例文を除いた調査対象件数を < 表 3 > に示す。

< 表 3 > 検索エンジンサイトおよび研究対象結果の件数

言語・表現		検索エンジンサイト	例文の数
日本語「丁寧」		www.google.co.jp	56
		www.yahoo.co.jp	92
		www.naver.jp	93
		jp.msn.com	96
日本語小計			337
韓国語	① 鄭重 [jeongjung]	www.naver.com www.google.co.kr	99 100
	② 恭遜 [gongson]	www.naver.com www.google.co.kr	99 100
韓国語小計			398
中国語	① 礼貌 [limao]	www.google.com.hk www.baidu.com	100 100
	② 仔細 [zixi]	www.google.com.hk www.baidu.com	100 100
	③ 周到 [zhoudao]	www.google.com.hk www.baidu.com	99 100
中国語小計			599
シンハラ語	① [acha:rashi:li]	www.google.lk	110
	② [shista]	www.google.lk	71
シンハラ語小計			181
ドイツ語	① höflich	de.yahoo.com	100
	② sörgfältig	de.yahoo.com	100
ドイツ語小計			200

5. 2. 2 日本語コロケーションの傾向

日本語では丁寧とのコロケーション語が、IV 人間性、V 人間行動、VI 社会的活動の 3 つの範疇に多く現れるのに対し、I 抽象的關係、VII 自然と環境の範疇に現れる例は少ない。IV 人間性、V 人間行動、VI 社会的活動の 3 つの範疇において、「丁寧」は定義①の「注意

深い」という意味で用いられるものと、定義①の「注意深い」と定義②の「手厚く親切。礼儀正しい」の両者の意味で用いられるものがある。Ⅳ人間性の範疇では、「丁寧に〔用言〕」の形で、「説明する」「解説する」「教える」が見られた。「丁寧な〔名詞〕」の形では、「説明」「指導」が見られた。これらの表現での「丁寧」は、いずれも定義①の「注意深い」と定義②の「手厚く親切。礼儀正しい」にまたがった意味で使われている。Ⅴ人間行動の範疇では、「丁寧に〔用言〕」の形で「議論する」「書く」が見られた。「丁寧な〔名詞〕」の形では、「回答」「言い方」「議論」が見られた。これらの表現での「丁寧」は、定義①の「注意深い」という意味（「丁寧に議論」「丁寧な議論」「丁寧に書く」と、定義①の「注意深い」と、定義②の「手厚く親切。礼儀正しい」の両者の意味が含まれるもの（「丁寧な回答」「丁寧な言い方」）に分かれた。

Ⅵ社会的活動の範疇では、「丁寧に〔用言〕」の形で「暮らす」「生きる」「作る」が見られた。「丁寧な〔名詞〕」の形では「暮らし」「対応」が見られた。これらの表現での「丁寧」は、定義①の「注意深い」という意味で使われるもの（「丁寧に作る」と、定義①の「注意深い」と、定義②の「手厚く親切。礼儀正しい」の両方の意味で使われるもの（「丁寧に暮らす」「丁寧な暮らし」「丁寧に生きる」「丁寧な対応」）に分かれた。

5.2.3 韓国語コロケーションの傾向

韓国語①鄭重 [jeongjung] と②恭遜 [gongson] は、Ⅵ社会的活動やⅤ人間行動に関係のある表現とのコロケーションが見られた。両表現ともに、日本語の「丁寧に仕事する」「丁寧に作業する」といった使い方の例は見られず、日本語の「丁寧」の定義①に相当する「注意深い」の意味では用いられないことがわかった。しかし、日本語の「丁寧」の定義②の「礼儀正しい」の意味として使用される時には両形式に相違点が見られた。まず、「鄭重」の場合は、聞き手を想定した場面でマナーが良いことを表すが、「恭遜」の方は、相手を敬う気持ちや礼儀正しい振る舞いや行動を表す傾向が見られた。また、<表2>の結果から、恭遜 [gongson] は多様だが、特にⅣ人間性、Ⅱ位相・空間、Ⅰ抽象的関係の語が多く、鄭重 [jeongjung] は主に、Ⅵ社会的活動とⅤ人間行動の語との結びつきが強いといえる。鄭重 [jeongjung] は、主に社会的関係を表す言葉や人間の動きを表すために使用されるが、恭遜 [gongson] はむしろ社会的関係や人間の動きを表すこともあるが、位相や空間、抽象的関係の類の語が多いことが明らかとなった。

5.2.4 中国語コロケーションの傾向

中国語の場合には、3語が相当するが、それぞれ異なる傾向を見せている。礼貌 [limao] にはⅣ人間性に関する語が多いが、仔細 [zixi] にはⅤ人間行動の例が多く現れた。周到 [zhoudao] では、Ⅵ社会的活動の語が圧倒的に多く見られる。3つの訳語の中で、礼貌

[limao] は意味的に「丁寧」に近い訳語とされており、多くの先行研究の中で「丁寧」に相当する語として挙げられてきたが、今回の調査結果では「丁寧」の定義②「礼儀正しい」に相当する使い方が見られなかった。また、品詞面から見ると、礼貌 [limao] は名詞、形容詞の両用法があるが、名詞的な使い方は200例の中148例を占めた。修飾成分として働いている「丁寧」が、具体的な「マナー」「礼儀作法」として使われやすい傾向がわかった。仔細 [zixi] は定義①「注意深い」の意味で使用されているが、定義①「礼儀正しい」に相当する例は見当たらなかった。また仔細 [zixi] は形容詞であり、意味範疇は人間、事柄にも及び、「工人很仔细」（労働者は丁寧だ）という表現は直訳すると不自然に感じる。1つの定義しか持っていない礼貌 [limao]、仔細 [zixi] に対し、周到 [zhoudao] は定義①と定義②両者の意味で使用可能である。ただし、「周到热情」という用例で表したように、「周到」（丁寧）と「热情」（情熱）との結びつきは強く、綿密で、静かなイメージを持つ「丁寧」と異なるところがある。

5.2.5 シンハラ語コロケーションの傾向

シンハラ語の両語は、VI社会的活動やV人間行動に関係のある表現が多く、両表現ともVI社会的活動との結びつきが強いといえる。②の shista はVII自然と環境の語が多いことも特徴的である。全体的にみれば、①の *acha:rashi:li* は多様な傾向がみられた。そして、②の shista は社会、文化、人間、国民、教育など全体像を示す幅広い意味で使われているのに対し、①の *acha:rashi:li* は、「ある人」、「警備員」など、より具体的にものを示す場合に使われている。また、「丁寧に読む」、「丁寧に扱う」のように日本語の「丁寧」の定義①に相当する「注意深い」の意味で用いられている例文は見られなかった。言い換えれば、シンハラ語では、①の *acha:rashi:li* も②の shista も日本語の「丁寧」の定義②「礼儀正しい」に相当していると言えよう。シンハラ語の①と②は連用用法 (shista, shistasanpanna (礼儀正しい))、「*acha:rashi:li* (丁寧な)」または連体用法 (shistasanpannava (礼儀正しく))、「*acha:rashi:li/lesa* (丁寧に)」の用法がある。しかし、データから見ると、shistasama-jayak (礼儀正しい社会)、shistasanpannaratak (礼儀正しい国) などの例が挙げられ、②の shista は連体用法としてより多く見られた。*acha:rashi:li* は、*acha:rashi:litarunayek* (丁寧な若者) のように連体用法、または *acha:rashi:lilesa hinavenava* (丁寧に笑う) のように連用用法として使われている。しかし、連用用法については、日本語と同様に「丁寧に笑う」「丁寧に答える」のような例文もある反面、「丁寧になる」という意味での使用も多く見られる。その直訳の例文は、「あなたは丁寧になってください」「丁寧になってください。それはとても大事です」「丁寧になるよう心がけました」が見られた。このように *acha:rashi:li* は、アドバイスする、あるいは、自分で決心する際、または、相手に向けて行動を礼儀正しく行うという意味で用いられている。上述したようにこの用法は②の shista には

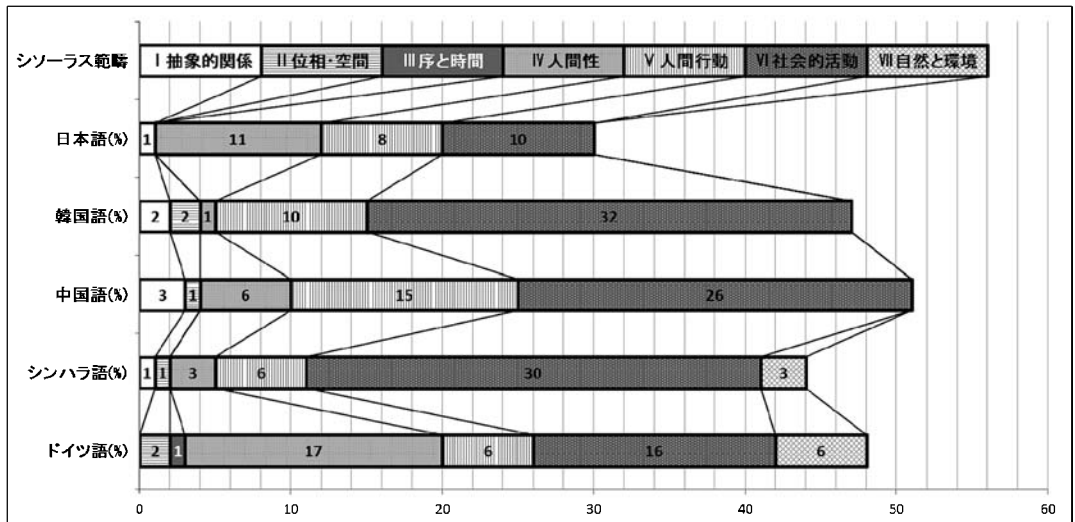
見られなかった。

5.2.6 ドイツ語コロケーションの傾向

ドイツ語の場合、höflichはIV社会的活動とVII自然と環境の表現と共に使用されている傾向があった反面、sorgfältigはIV人間性とVI社会的活動の言葉と一緒に使用されている傾向があった。つまり、日本語の「丁寧」を表すには、IV社会的活動を表す場合にはhöflichで、IV人間性を表す場合にはsorgfältigで表現していることが分かる。

5.2.7 5言語コロケーションの傾向

各言語におけるインターネット上の「丁寧」のコロケーションのについてまとめたものが<図3>である。



<図3> 「丁寧」に相当する語彙のWEB検索サイトによるコロケーション (%)

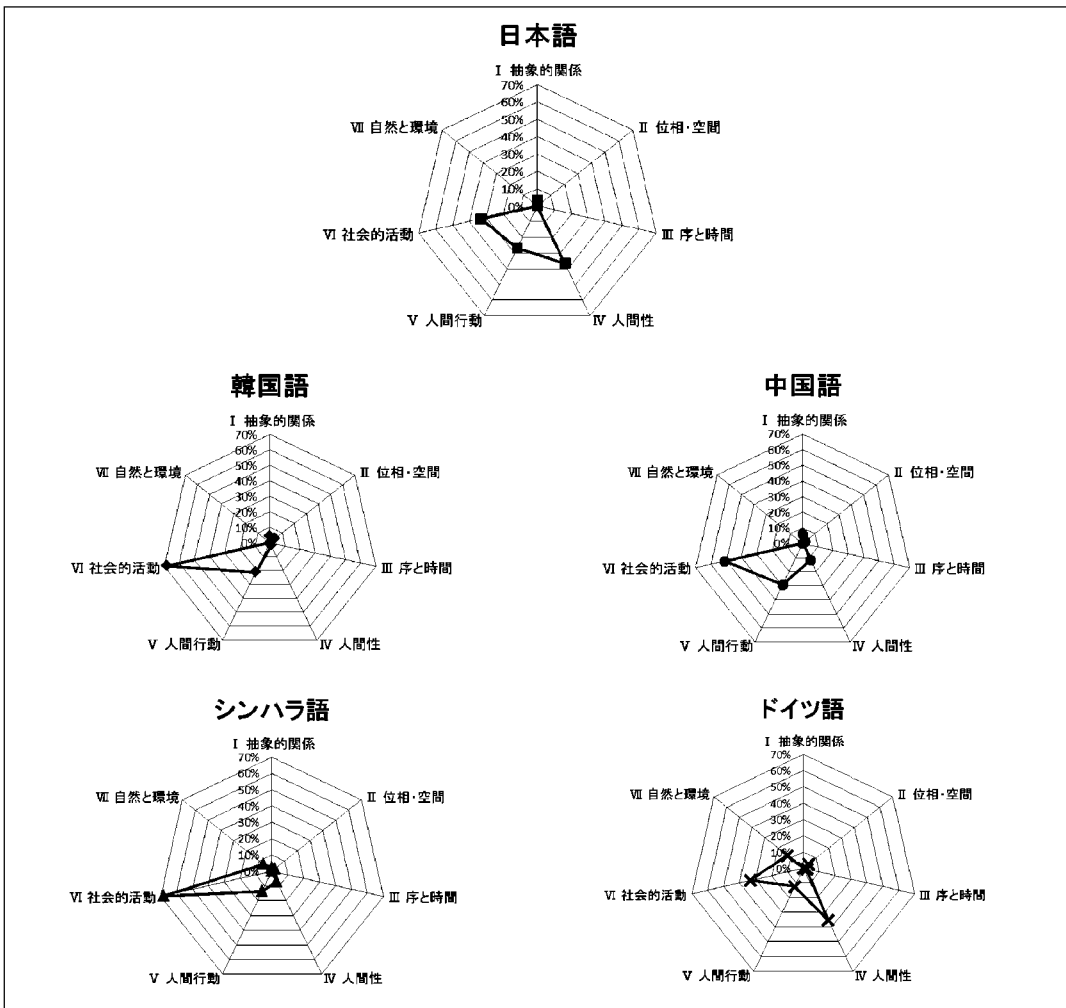
本調査から、語彙の意味の分析では明らかにできない点が、コロケーションという文脈調査によって、各語彙の特徴が明らかにできたと言えよう。

6. まとめ

「丁寧」という語彙を取り上げ、5言語を対照した。方法として、語彙の意味だけではなく、連想という意識的分析手法、そして、現実社会でどのように用いられているかの社会的文脈の分析として、WEB上での調査を行った。そこから得られたデータを、シソーラスという語彙体系を利用して、コロケーションを語彙体系の中で示すことで、各言語での特徴を明らかにした。

調査1では辞書における「丁寧」の意味を比較し、調査2ではインターネットを通し、言語ごとに「丁寧」という語彙と関連のある語彙とのコロケーション関係について分析した。その結果を以下の<図4>にまとめた。本調査から、どの言語でも「社会的活動」とのコロケーションが多く見られたことは共通している。しかし、日本語「丁寧」は「人間活動」「人間性」との表現も多く、他の言語と較べて多様なことがわかる。特に韓国語、シンハラ語は「社会的活動」が突出していることは注目に値する。

本研究での語彙間の対照方法は、従来の対照語彙研究が意味素性の抽出など語彙自体の意味論的分析であったのに対し、語彙の運用を前提とした意識的調査と、コロケーション研究を援用し、文脈を考慮した使用分析を提示したことで、新たな語彙研究方法を提示できたと考える。



<図4> 「丁寧」に相当する語彙のコロケーション分類図

7. おわりに

以上本研究では、日本語「丁寧」という語彙という概念が、韓国語、中国語、シンハラ語、ドイツ語における概念との類似点と相違点について日本語学習者調査と各言語における辞書の定義及びインターネット調査を通して探った。今後、「丁寧」という語彙の類義語についても調査を行い、語彙間での体系的な記述を行って行きたい。また、日本語学習者の使用状況や、該当語彙に関する意識調査を行うことで、本研究の発展を考えている。

注

1. 『ポライトネス：言語使用における、ある普遍現象』（田中典子・斉藤早智子・津留崎毅・鶴田庸子・日野壽憲・山下早代子（2011）、研究社出版）
2. 検索エンジンGoogleとYahooを用いて検索した（検索日時2012年10月5日）ところ、「丁寧な技で作られている」はGoogle、Yahooともに1件であった。
3. この違いを積極的に認めようとするのが西嶋（2007）で、3つのレベルを設定している。

i) 第一レベル：言語および非言語手段

ii) 第二レベル：ストラテジーとしての相互行為マネジメント

iii) 第三レベル：コミュニケーション行動を評価する日常的概念（西嶋2007：69）

西嶋の分類では第一レベルは、「敬語表現などの言語手段やお辞儀などの非言語手段」で、第三レベルは「特定の社会や文化で歴史的に成立した基本概念」としている。中間の第二レベルは、筆者には理解し切れていないが、本研究でも、西嶋の言う第一レベルでも、第三レベルでもない語彙意味レベルを考えている。

4. 中国語では「丁寧」と対応する訳語は多様であるが、今回は「礼貌」「仔細」「周到」という三つだけを取り上げて分析を行った。分析対象とする三つの訳語は、今回調べた辞書の記述に限って出現数の上位三つの訳語であるが、そのほか「恭敬」などの訳語も多く現れたため、今後の課題としてさらに考察する必要があると考える。
5. シンハラ語の表記原文は以下の通りだが、本文の中ではローマ字表記のみにする。

acha:rashi:li	අචාරශීලී	shista	ශීඝ්ට
---------------	----------	--------	-------

6. 山口（2003）の分類によると、＜Ⅰ抽象的關係＞には「關係」「因果」「外相・様相」「状態」「内相」「適否・難易」「測度・メジャー」「過不足」「程度」「消長・強弱」、＜Ⅱ位相・空間＞には、「存在」「位置」「形象」「変化」「動く」、＜Ⅲ序と時間＞には、「序」「時点の指定」「過現未」「時」、＜Ⅳ人間性＞には「肉体」「生理」「健康・病気」「人物・能力」「感情」「知性・理性」「学問」、＜Ⅴ人間行動＞には「見る・聞く」「言

葉」「継続」「話す」「読む・書く」「伝達」、<VI社会的活動>は「命・生死」「人生」「欲・望む」「行動」「生活」「芸術」「遊ぶ」「スポーツ」「社会制度」「行動原理・徳不徳」「宗教」「文化・風俗」「人間関係」「社会階層」「対人行動・対人感情」「治乱・軍事」「政治」「司法」「経済」「組織・職業」「産業」「人造物」「衣料」「食料」、<VII自然と環境>では「天象」「天候」「天地」の小分類項目としてカテゴライズされている。

参考文献

- 小野正樹 (2001) 「語彙ネットワーク--日本語母語話者と日本語学習者の自然連想法の調査から」、『日本語教育論集』16号、筑波大学留学生センター：11-19
- 国立国語研究所 (1952) 『婦人雑誌の用語—現代語の語彙調査』(国立国語研究所報告4)、秀英出版
- 国立国語研究所 (1957) 『総合雑誌の用語—現代語の語彙調査』(国立国語研究所報告12-13)、秀英出版
- 国立国語研究所 (1962) 『現代雑誌九十種の用語用字〈第1-2分冊〉』(国立国語研究所報告21-22)、秀英出版
- 国立国語研究所 (1964) 『分類語彙表』(国立国語研究所資料集6)、秀英出版
- 国立国語研究所 (1986) 『日独仏西基本語彙対照表』(国立国語研究所報告88)、秀英出版
- 里見文 (2010) 「『丁寧な』と『cortes』の概念の異同：日本語母語話者とメキシコ人スペイン語母語話者の場合」、『日本語教育論集』25号、筑波大学留学生センター：37-56
- 鈴木敏昭 (1993) 「語意味の習得と連想—語の拡大使用をめぐる—」、『日本語学』Vol.12、No.9、明治書院：52-60
- 南不二男 (1993) 「連想と言語研究」、『日本語学』Vol.12、No.9、明治書院：4-11
- 西嶋義憲 (2007) 「『丁寧』の意味変化—コミュニケーション行動評価概念の異文化比較のために—」、『金沢大学経済学部論集』第27巻、金沢大学経済学部：67-80
- 西嶋義憲 (2010) 「Freundlich/höflichと『親切』・『丁寧』：コミュニケーション行動の日独対照」、『言語文化論叢』4、金沢大学経済学部：185-207
- 山口翼 (2003) 『日本語大シソーラス—類語検索大辞典—』、大修館書店
- 山下景子 (2008) 『美人の日本語』、幻冬舎
- 山田進 (1993) 「連想と意味」、『日本語学』Vol.12、No.9、明治書院：12-19

参考辞書

[日本語辞書]

- 渡邊敏郎・E.Skrzypczak・P.Snowden編集 (2003) 『新和英大辞典』第5版、研究社
- 新村出著・編集 (2008) 『広辞苑』第6版、岩波書店

小学館編 (2001) 『日本国語大辞典』 第2版、小学館

松村明編 (2006) 『大辞林』 第3版、三省堂

[韓国語辞書]

『標準国語大辞典：国立国語院標準国語大辞典』

<http://stdweb2.korean.go.kr/> (使用日：2012年5月～)

李基文監修 (1989) 『東亞 国語辞典』、東亜出版社

大阪外国語大学朝鮮語研究部編 (1985) 『朝鮮語大辞典』、角川書店

[中国語辞書]

相原茂編 (2010) 『中日辞典』 第三版、講談社

伊地智善継編 (2002) 『白水社中国語辞典』、白水社

小学館・北京商務印書館共同編集 (1992) 『日中辞典』 第2版、小学館

[シンハラ語辞書]

野口忠司 (1998) 『日本語シンハラ語辞典』、大学書林

野口忠司 (1992) 『シンハラ語日本語辞典』、大学書林

Madura Dictionary – Madura online

<http://www.maduraonline.com/> (使用日：2012年3月1日)

[ドイツ語辞書]

在間進編 (2010) 『アクセス独和辞典』 第3版、三修社

根本道也、鈴木敦典、有村隆広、本田義昭、新保彌彬、成田克史、恒吉良隆、吉中幸平、

福元圭太 (著) 編 (2002) 『新アポロン独和辞典』、同学社

付記：本稿は平成24年度「公益信託田島毓堂語彙研究基金」の助成を得た「日本語「丁寧」の周辺語とコロケーションの対照研究」(研究担当者 小野正樹)の研究成果の一部である。